

起因物、事故の型：その他の材料 - 動作の反動無理な動作の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労 働 者 規 模
1	10~ 11	荷卸し先の倉庫内にて、断熱材（60×40×185cm・20kg）100本を手降ろし（5×6本）で組んで積み上げている時、最上段（6段目）に上げる際、腰に痛みがはしった。	38	40301	10 ~ 29
1	11~ 12	社内の作業場で梱包作業中、3m×2m・重さ80kgの枠組を、2人で持ち上げた時、右胸に痛みを感じた。	38	40302	30 ~ 49
2	8~9	会社で配達の前準備をしている時に、じゃがいもの袋（20kg）を移動させようと無理な体勢で袋を持ち上げた時に、腰にビリッと痛みを感じた。	53	80109	10 ~ 29
2	16~17	コンテナより荷降ろし中、汚れ品（集荷袋入り）を持ち上げた際、腰に痛みを感じた。	33	11703	100 ~ 299
2	10~11	工場製造3課包装工程において、約20kg程ある底フィルムを台の上に載せようとして、両手で持ち上げたところ、左肘に強い痛みを感じて関節を痛めた。	58	10101	500 ~ 999
2	10~11	クリーンルーム内において、製造ラインを稼働させる準備作業をしている時に、機械に用いられる20kg程の底フィルムを台車で運搬するために膝を曲げ、中腰の状態両手で持ち上げた時に左肘に強い痛みを感じて関節を痛めた。	58	170101	50 ~ 99
		被災者は、工場内作業場で自動車部品メーターカバーを取り付け作業を			300

2	12~13	行っている際に力を入れ圧着した時に両手首に痛みを感じた。また、コネクターを結線する作業もあり、中指を痛めた。	41	11502	~ 499
2	12~13	被災者は、作業場で自動車開発部品のメーターカバーを取り付け作業を行っている時に慣れていない作業だったので、力を入れ圧着した際、両手首に痛みを感じた。また、コネクターを結線する作業もあり、中指に痛みを感じた。	41	170101	~ 299
3	11~12	瓶等の分別作業をしていたが、右手中指に激痛がはしった。左手薬指をかばいながら仕事をしていたが、しばらくして左手親指・右手中指にも軽度の痛みとつりを感じはじめた。	49	150103	~ 29
3	1~2	リフォーム工事現場にて浴室解体作業中、1人で力一杯浴槽を引き上げようとした時、右肩からグジュと音がし、右肩腱板断裂を負った。	59	30209	1~ 9
3	18~19	会社の倉庫内で清掃をしている時、二段積みのタイヤを動かそうと持ち上げた時に痛みがはしった。	30	30301	50 ~ 99
4	9~ 10	当工事構内にてコンクリート製基礎ブロック72個（25cm×25cm×25cmの空洞ブロック）をトラック荷台から台車に積み替える等の作業中、腰痛が出始めた。	27	30201	10 ~ 29
4	13~ 14	建築現場で、石膏ボード張り（内装の壁張り作業）中に、石膏ボードを持ち上げて（仮置き場所から部屋まで3枚一度に運んでいた、10kg程度）運ぶ際（たてかけた）ふくらはぎが痛くなり、しゃがんで起き上がる時に痛みを感じた。	28	30202	1~ 9
4	11~ 12	屋根修繕工事現場（屋根上）において、古い日本瓦を取り除き、簡易リフトに載せようと身体をひねった際に、腰部に激痛が走りその場にうずくまってしまった。同僚と一緒に地上に降り、その日は安静にしていたが痛みが治まらなかった。	43	30209	1~ 9
4	16~ 17	工場内で、裁断された硝子を両手に持ち、所定の場所に置く為に移動していた際に躓いてしまい、右足首を捻挫した。	29	10902	10 ~

					29
4	16～ 17	工場内で、裁断された硝子をもって、所定の場所に置こうとした際に躓いてしまい、右足首を捻挫した。	29	170101	100 ～ 299
4	14～ 15	マシニング機へのワーク脱着作業を次のような手順で行っていた。①アルミ素材（3～5kg）を右手に取り、左手に持ちかえる。②右手で機械で処理済みのワークを取り出し、左手で左手に持っているアルミ素材を機械にセットする。③右手に持っている処理済みのワークを向きを変えて左手に持ち替え、次の機械にセットする。合計8台の機械にセット・脱着を繰り返す作業の負荷により、痛みが発生した。	28	11502	300 ～ 499
4	14～ 15	マシニング機へのワーク脱着作業を次のような手順で行っていた。①アルミ粗材（3～5kg）を右手にとり左手に持ちかえる。②右手で機械で処理済みのワークを取り出し、左手で左手に持っているアルミ粗材を機械にセットする。③右手に持っている処理済みのワークを向きを変えて左手に持ち替え、次の機械にセットする。合計8台の機械にセット・脱着を繰り返す作業の負荷により、痛みが発生した。	28	170209	50 ～ 99
5	14～ 15	4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を行っていて、他の従業員は、その作業とパレット運搬作業を交互に行っている。しかし、そのパレット運搬作業が被災者自身が小柄で、運搬作業を行うのが困難なため連続して4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を2時間程度行ったため、右肩肩甲骨を損傷した。	50	10109	500 ～ 999
6	15～ 16	シートの反物を、裁断するために持ち上げようとした際に、腰に違和感があった。最初は痛みだけだったが、徐々に右足が痺れる様になり、座っていることすら困難になってしまった。	63	10209	1～ 9
6	9～ 10	清掃現場である部屋にてベッドメイキング作業中、シーツをベッドの下に入れ込んだ時、右手中指が逆方向に曲がってしまい負傷した。	51	150101	100 ～ 299
					10

6	16~ 17	当社加工場でパレットの中に重なり合っている大型の冷凍魚を、1尾ずつ持ち上げて原魚台に降ろす作業をしていた最中、腰を痛めた。	34	10102	~ 29
6	11~ 12	当社工場内にて、組み立てたガラス入り障子（縦200cm×横90cm×幅4cm、重量約40kg）をトラック（1t車）に積み込み作業中、障子を両手で持ち上げて荷台に載せようとした時、右肩でブチブチと音がし、右肩が上らなくなった。	44	30309	1~ 9
7	14~15	工場第1整形室にて機械の入口から出てきた原料肉をひっくり返し、その原料肉を再び同じ機械に入れる作業をしていたときに、機械の入口から離れたところから原料肉を入れようとしたため、体勢を崩して原料肉を持っていた右手首をひねってしまった。後日痛みが増し、右手関節捻挫の診断を受け18日後にMRI検査をした結果、右肩腱板不全損傷で休業見込みを1か月要することがわかった。	37	10109	300 ~ 499
7	10~11	工場内において前処理のため、品物の入った箱を持ち上げた際に腰を痛めた。	34	11209	10 ~ 29
7	14~15	野菜処理室で、下処理をするたまねぎの入ったコンテナを作業台にのせる作業を何度か行う中で、腰に負荷がかかり痛めた。普段、重いものは2人で持つよう指導され実践していたが、その日は周りに人が少なかったため、1人で持つ不安全な行為があった。腰に負荷が掛かっている状態で作業を継続したため、バランスを崩し左足を痛めた。	40	10109	100 ~ 299
7	21~22	第1成型に於いて、端尺の原反を隣の原反置場に移動するため、2人で鉄芯の両端を持ち、持ち上げた際、腰を痛めた。	47	10805	100 ~ 299
7	16~17	製本加工の丁合機に刷本をのせる作業工程で違うページが混入していないか確認のpara検品を行って丁合機に刷本をのせるのだが、そのpara検品の際に左手に刷本を持ち右手でparaparaとページを検品行う時にA4サイズで厚みもあったため右手首が外側にひねりすぎてしまった。	36	10702	30 ~ 49

7	11~12	作業所で中子造型機械から中子を取り出すため左手で持ち上げた際に左肩に痛みが出た。	56	11102	10 ~ 29
7	11~12	作業所で中子造型機械から中子を取り出すため、左手で持ち上げた際に左肩に痛みが出た。	56	170101	30 ~ 49
7	2~3	派遣先にて、材料を床から機械に補充するため持ち上げた時、腰に激痛を感じた。	24	11409	500 ~ 999
7	9~10	当社工場内に於て、万鯛の加工処理作業中、作業台の上に乗せた万鯛の上身処理を終え、下身の処理に移るべく魚を反転させた際、魚が自重（約40kg）により横すべりしたため、これを支えようとしたが魚の重みに耐えきれず、突然左上腕部から頭キツという音と伴に激痛が走り、左上腕部の腱を断裂負傷した。	57	10102	100 ~ 299
7	7~8	ホタテの水揚げ作業が始まり、早朝より洋上での水揚げ作業を行い、加工場に持ち込みホタテカッターへ1枚ずつ投入する作業を担当していた。重いカゴを持ち上げる作業と連続してホタテを投入する作業で手首に負担がかかったと思う。左手首の痛みを感じ翌日に右手首も痛くなったので手首用サポーターで保護し無理のない作業をした。翌々日に水揚げ作業後痛みが増し両手首がつかえない状態となった。	42	10102	1~ 9
7	13~14	当社において、吊るされている豚の枝肉を洗い右に移動させようと、両手で枝肉を押していた時に、腰を捻り負傷した。	50	150105	30 ~ 49
7	10~11	個人宅で粗大ごみの運び出し収集作業中、ソファを相方社員と抱えて後ろ向きに歩き出し、続けて敷地内を歩いているとき、自分の周囲の障害物を確認するため上半身を左側に捻ったところ、左の脇腹と背中と腰に強い痛みを感じた。多少痛みがあったが、ソファを車に積み込んだあと、車での移動中に、呼吸をすると脇と腰に強い痛みがはしり、我慢できなく	31	150103	50 ~ 99

		なってきた。			
10	17～ 18	工場内の階段で二階から一階へ階段を下りている時、階段下の脇にガラスが立てかけてあった。置いてある事を知らずに、階段を下りていてガラスにあたり、ガラスが倒れた。倒れたガラスを踏んだ時に、足をひねった。	58	10902	1～ 9
10	5～6	ホースの製造で、ホースの芯となるマンドルを引き抜く作業をしていた。ホースの端に円周の切れ目を入れて切り離し、左手でホース本体、右手で切り離したホースを握り、切り離したホースを本体から引き抜く作業中に、右肩甲骨付近に痛みが発生した。当初は筋肉痛であろうと被災者は思っており、いずれ治ると思っていたため出勤していたが、後日寝返りもできないような状況となり、受診した結果、右第5肋骨疲労骨折と診断された。	41	170101	300 ～ 499
10	5～6	ホースの製造で、ホースの芯となるマンドルを引き抜く作業をしていた。ホースの端に円周の切れ目を入れて切り離し、左手でホース本体、右手で切り離したホースを握り、切り離したホースを本体から引き抜く作業中に、右肩甲骨付近に痛みが発生した。当初は筋肉痛であろうと被災者は思っており、いずれ治ると思っていたため出勤していたが、後日寝返りもできないような状況となり、受診した結果、右第5肋骨疲労骨折と診断された。	41	10806	50 ～ 99
10	15～ 16	営業所倉庫2階に於いて、当日出庫貨物の準備作業をしている時、貨物（塩ビフィルム、円筒形、径30cm、高さ1.8m、重量約80kg）を保管棚から、出庫用パレットに移動しようとした時（転がし作業）、体のバランスを崩し、貨物が倒れそうになった。貨物を支えようとして、腰部に急激に負担がかかり当該傷病発生の原因となった。	53	40301	10 ～ 29
11	11～ 12	敷地内建物の東側、外に保管してあるのぼり旗をさすコンクリート製の土台（20～30kg）を約5メートル引きずり社用車の軽ワゴン車荷台に積もうと持ち上げた時に「ポキッ」という鈍い音とともに背中に激痛を感じ、地面に滑るように倒れ込んだ。救急車により救急搬送され診察を受けた結果、第二腰椎新鮮圧迫骨折であると分かった。	58	11703	50 ～ 99

11	16～ 17	片付け作業をしようとしたところ、置場内入口の段差で躓き、よろけてしまった。その際バタ角にぶつかり、背中と首を痛めた。	56	80409	30 ～ 49
11	13～ 14	ベーカリー作業場にて、ホイロからパンを出す時冷皿に6斤分（鉄板11kg）をのせて、持ち上げ振り向いたところ、腰に痛みが走り動けなくなった。	44	80201	100 ～ 299
11	16～ 17	印刷用コートボール310g（材料）幅850mm×流1150mmの寸法を幅815mm×流910mmに断裁の為作業をした。1600枚断裁の予定でスタートし、100枚が1包装されている為重さは約30kgになる。最初の1包装を開梱し100枚を一度に持ち上げた時に肩を痛めた。改善、850×1150の寸法の紙は取り扱う材料の中で一番大きな紙寸法の為、今後は開梱後、半分の50枚で断裁するようにする。これにより肩への負担がなくなる。当初は休業がなかったが、後日入院することになる。	56	10602	50 ～ 99
11	17～ 18	製品積み込み場にてトラックに商品を積み込み荷物を固定後に荷台から降りた時に、足元に荷物を固定するラッシングベルトがあり、誤ってベルトの上に降りた際に、足首を捻って負傷したものである。	35	80101	100 ～ 299
11	11～ 12	作業場内で、商品を袋詰め中に右腕をひねり、痛めた。	54	10101	100 ～ 299
11	11～ 12	高さ80cmの作業台に床から重い物を二人で持ち上げ作業台の上に来たところ、相手が先に手を離れた時左肩に激痛が走った。	67	80109	1～ 9
11	11～ 12	検品済みの製品をパレティーナに移す際に、規定よりも多い数を持って作業をしていた。急いでいた為、無理な姿勢のまま腕を振ってしまい、製品の重量で肘を捻った。	46	11709	1～ 9

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html